



# セゾン投信 月次運用レポート

## 長期投資家の皆様へ

1月末に日銀がマイナス金利政策導入を決めて以降、年初からの世界の不安定相場は尚更その振れ幅を拡大させて、リスク回避要因の複雑化への戸惑いが、より一層色濃く反映された日々の値動きが続いています。

実際日本のマイナス金利発動は市場関係者にとって唐突で、却って日銀のみならず各国中央銀行の手詰まり感まで市場に醸成されたかのように、リスクオフへのモメンタム（勢い）が優勢となっています。

実際お金の流通活性化に特効と見込まれたはずのマイナス金利実施以降、インターバンクの短期金融市場では資金融通機能が事実上停止状態で、MMFやMRFも今のままでは存続さえ危ぶまれるほど、資金フローが目詰まりを起こしているのです。

しかしながら、2月末に開催されたG20会合では、現在の市場動向は世界の経済実態から大きく乖離しているとして、市場安定に向けた政策総動員が確認され、右往左往を繰り返して来た原油価格も当面の落ち着き処を探るボックス圏に収れんしつつあって、日本でもマイナス金利に対応した相場環境が定まって来ることで、やがてリスクオフのモメンタムはファンダメンタルズ（实体经济）を反映した水準に落ち着くことでしょう。

確かに年初からの相場混乱は、企業業績見通しを弱気に傾ける要因であり、それが暫し株式市場の価格回復に相応の時間を必要とするかもしれませんが、地球経済全体の成長軌道は若干のペースダウンとは言え、巡行内で安定を保っており、ことごとくマイナス面が強調されて来た資源安も、低位安定基調が来期には企業活動から生活者レベルに至るまで、エネルギー消費側の恩恵として、徐々に認識を強めて来るはずで。

日欧で始まったマイナス金利時代が、実際の経済活動にどのような影響をもたらすのか、或いは想定外の事象を生み出すのか、まだその姿を見定め兼ねる中で、米国の金融政策の行方も見極めにくく、ムード好転にはまだ時間を要するかもしれませんが、長期投資家にとっては、将来の果実育成に向けた好機と、腰を据えて仕込む機会にちがいません。

「セゾン号」は変わらぬプロセスで、じっくりとそれを買い方に回り積み上げています。

中野 晴啓

## ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口 : 03-3988-8668 (受付時間 9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く)

# セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド SAISON Vanguard Global Balanced Fund

## 2月の市場動向

**株式：**【途中大きく下落する局面もあったものの、後半には先行きに対する悲観的な見方が後退して反発に転じ、月間では小幅な下落】  
景気減速への警戒が高まるなかで、原油価格が下落してリスクを避ける動きが強まり、大きく下落する局面もあったものの、後半は原油価格が反発に転じたほか、米国で景気の先行きに対する懸念が後退したことを受けて落ち着きを取り戻して反発に転じました。

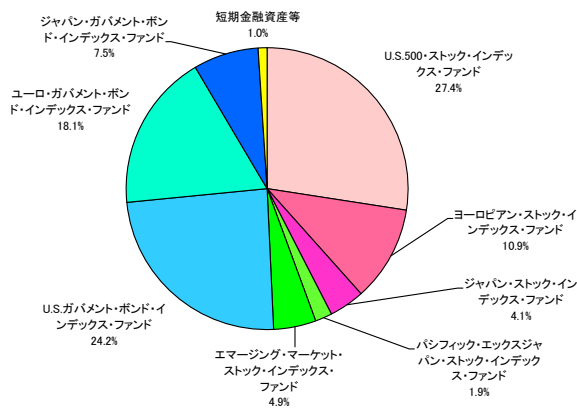
**債券：**【景気の先行きに対する懸念が強まるなかで、金融緩和環境が長期化するとの見方が強まって上昇】  
先行きへの不透明感が強まるなかで米国の利上げペースが緩やかなものになるとの見方が確認され、ユーロ圏では追加金融緩和への期待が高まったほか、日本でもマイナス金利が導入されたことを受けて、利回りを確保するために国債を購入する動きが強まり上昇しました。

**為替：**【日本銀行による金融緩和策の手詰まり感が意識された円が大きく上昇し、対ドル、対ユーロで大幅な円高】  
利上げペースが緩やかなものになるとの見方が確認されたことを背景にドルが下落し、ユーロは金融緩和期待が高まり軟調な展開となったものの、対ドルでは小幅上昇となりました。円はマイナス金利の導入を受けて政策の手詰まり感が意識され、大きく上昇しました。

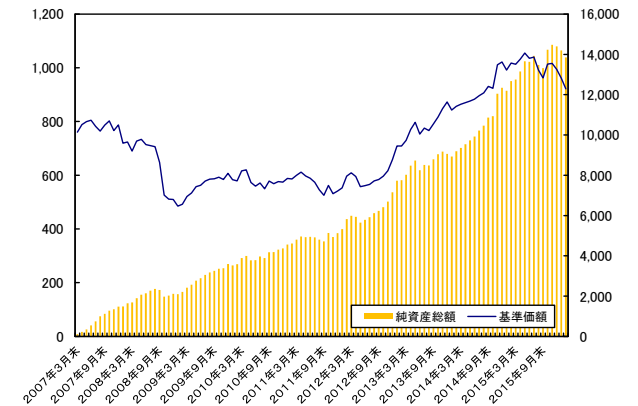
基準価額と純資産総額及び騰落率 (2016年2月29日現在)

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
12,294円	1038.7億円	+22.94%	-4.13%	-7.03%	-9.43%

資産配分状況 (2016年2月29日現在)



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



## 2月の運用状況

### 今月の投資スタンス

当ファンドは、定期積立プランでの購入などにより、皆様からお預かりした資金を利用して、定められた投資比率に従って、株式ファンド及び債券ファンドへの投資を行いました。

### ファンドマネジャーからの一言

今月は、欧州株式と日本株式に投資するファンドを除いて投資先ファンドが上昇し、基準価額の上昇要因となりました。一方、為替は対ドル、及び対ユーロで大幅な円高となり基準価額の下落要因となりました。結果、当ファンドの基準価額は下落しました。

当ファンドでは引き続き、将来への予測に依存することなく幅広く投資を行うことでリスクを分散しながら、皆様の長期的な資産形成に資することが出来るよう努めて参ります。

※変動要因については、右側の図1、図2もご参照下さい。

※ファンドの基準価額は原則として2営業日前の株式・債券市場の終値を反映しています。

運用部 瀬下 哲雄

図1 2月度の投資先ファンド価格の変動による影響  
※月末の投資比率に基づく概算値/投資先ファンド通貨建て

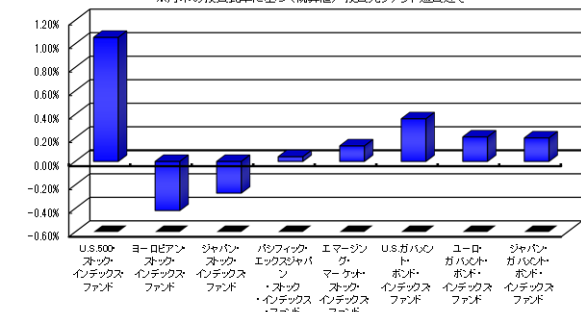
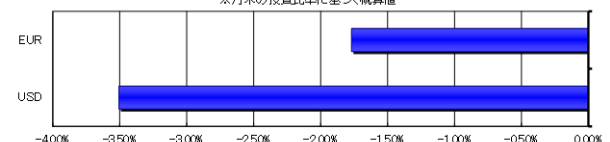


図2 2月度の為替変動による影響  
※月末の投資比率に基づく概算値



## 当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## 当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.5076%（税抜0.47%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.69%±0.03%（概算）となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）および立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

当該手数料の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

「Vanguard」（日本語での「バンガード」を含む）及び「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社及び承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。

また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. 及びVanguard Investments Japan Ltd より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。従って、The Vanguard Group, Inc. 及びVanguard Investments Japan Ltd は当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

### セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口 : 03-3988-8668（受付時間 9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く）